



ごあいさつ

金沢城北ライオンズクラブ

第50期 会長 酒井 壮司

この度、金沢城北ライオンズクラブは、CN50周年というクラブ創設半世紀を迎えることとなりました。

今期、我がクラブのスローガンを「先達に学び 協調と行動で 次世代を拓く We Serve」と掲げました。CN50周年という半世紀を振り返り、先輩諸兄が築き上げてくださった我がクラブのその歴史と成り立ちを学び、経験に基づく英知を結集し、皆が楽しくやりがいのあるクラブ運営を行うことで、納得のいくクラブ組織を構築し、協力し合える間柄を生み、一つ一つのアクティビティに誇りをもって行動するという、クラブ作りをするために定めたスローガンであります。

このスローガンの下、この歴史に刻む意義深いときに会長という大役を務めるにあたって、身の引き締まる思いと自らに課せられた使命を全うすべく、誠心誠意クラブ運営と継続的に行っている奉仕活動を遂行させていただきました。

また、CN50周年の記念事業となるアクティビティも数多く実施させていただきました。この記念事業となるアクティビティを行うにあたって、心がけたことは、何よりも地域に対しての奉仕、社会に対しての奉仕、そして未来を担う青少年に対しての奉仕を重視させていただきました。

地域に対しての奉仕として、地元を管轄する金沢東警察署に対して、ロードサインと交通安全の標語を記した懸垂幕の寄贈を行い、社会に対しての奉仕は、地元金沢市消防局に対して、救急救命訓練用の人体人形の寄贈を行い、また、社会福祉法人希望ヶ丘に対して、テントの寄贈と桜の木の植樹をし、未来を担う青少年への奉仕は、地元地域の公立私立の高校5校に対して、各学校が要望する記念品や桜の植樹をさせていただきました。

このように、数々の記念事業アクティビティを実施できましたことは、何よりもクラブ会員のご理解とご協力があったことと深く感謝する次第です。

令和2年に入り、新型コロナウイルス感染症の影響により記念式典や祝賀会を予定されていた時期に開催できないことは、非常に残念であり、開催に向けて一生懸命ご準備をいただきましたクラブ会員には大変に申し訳なく思っておりますが、記念事業のアクティビティをやり遂げることができましたことは何よりも幸いのことでありました。

今後、社会情勢がどのように変わっていくかは、まだ先の見通しがつきませんが何れにしましても、ライオンズクラブの奉仕の精神を下に、これからも社会・地域・青少年や人の健康と生命の尊厳を重視した行動を行ってまいり所存でございます。引き続き倍旧の引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。